

安城市	所属議員	辻山秀文・守口晶治・稲垣退三
-----	------	----------------

産業目線

【活動項目】②企業誘致		【活動テーマ】地域ものづくり産業の活性化																																		
到達目標	【29 期後半期】企業立地推進計画を今年度中に完成させる。 【中長期】2025 年までに北部地区に新たな産業ゾーンを実現する																																			
前回まで 活動状況	現状把握を行い企業の工業用地の拡大・移転に対する検討の有無を調査した結果、40 社中 63.5%が拡大・移転を検討していることが判明した。また、拡大移転の時期については 3 年以内が 35%、3 年超 5 年以内が 27.5%との回答を得ることができ、時期を逸することが無いように工業用地確保に向けた取組みを進めていく。																																			
今回 具体的活動 今回の進捗 【○】 ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	■新たな工業用地の確保について 3 月定例会の代表質問で確認 《質問》 ① 地元企業の市外流出を抑止するための、工業用地のニーズはますます高まっており、北部地域の新たな工業用地確保の案が出されたが、本市企業の現状と課題を質問。 ② 工業用地確保に向けた具体的な取組みは。 【回答】 ① 計画策定の過程でヒアリング調査した市内企業 59 社、市外企業 4 社、計 63 社の内、40 社から 45.6ha の工業用地の希望を聞いている。特に北部地域の希望が多く、その面積は全体の約 7 割に当たる 32.0ha である。 ② 企業意向の迅速な対応を最優先課題と捉え、環境整備を進めていく ・市公式ウェブサイトにて企業立地に関する専用ページを設け、情報発信していく。 ・既存工業地の効率的な利用に向け、工業用地拡張を希望する事業者とのマッチングを目的とした「工業用地の土地及び工場活用サイト」が商工会議所ウェブサイト開設される予定。 《課題》 本市の状況からまとめた工業用地を確保するためにはどうしても市街化調整区域の土地利用を考えなければならないが、様々な法令上の制限などの制約から、企業の進出できる場所が限られ、どのように企業の需要に即した工業用地の確保が進められるかが課題と考えている。		■安城市企業立地推進計画策定完了 工業用地の拡大・移転に対する検討の有無 <table><tr><td></td><td>回答数</td><td>構成比（％）</td></tr><tr><td>拡大・移転を検討している</td><td>40</td><td>63.5</td></tr><tr><td>拡大移転を検討していない</td><td>23</td><td>36.5</td></tr><tr><td>合計</td><td>63</td><td>100.0</td></tr></table> 拡大移転の時期 <table><tr><td></td><td>回答数</td><td>構成比（％）</td></tr><tr><td>3 年以内</td><td>14</td><td>35.0</td></tr><tr><td>3 年超 5 年以内</td><td>11</td><td>27.5</td></tr><tr><td>未定</td><td>15</td><td>37.5</td></tr><tr><td>合計</td><td>40</td><td>100.0</td></tr></table> ■今回の調査結果 <table><tr><td>市内企業</td><td>5 9 社</td></tr><tr><td>市外企業</td><td>4 社</td></tr><tr><td>合計</td><td>6 3 社</td></tr></table> 市北部地域の希望が多く、面積は全体の約 7 割を占める！		回答数	構成比（％）	拡大・移転を検討している	40	63.5	拡大移転を検討していない	23	36.5	合計	63	100.0		回答数	構成比（％）	3 年以内	14	35.0	3 年超 5 年以内	11	27.5	未定	15	37.5	合計	40	100.0	市内企業	5 9 社	市外企業	4 社	合計	6 3 社
		回答数	構成比（％）																																	
拡大・移転を検討している	40	63.5																																		
拡大移転を検討していない	23	36.5																																		
合計	63	100.0																																		
	回答数	構成比（％）																																		
3 年以内	14	35.0																																		
3 年超 5 年以内	11	27.5																																		
未定	15	37.5																																		
合計	40	100.0																																		
市内企業	5 9 社																																			
市外企業	4 社																																			
合計	6 3 社																																			
今後の活動	・市公式ウェブサイト企業立地情報発信内容の確認及びアクセス件数等の確認 ・「工業用地の土地及び工場活用サイト」のマッチング状況を確認 ・工業用地としての適地調査を行うためには、委託料が発生するため補正予算計上を要望する。																																			

安城市

所属議員

辻山秀文・守口晶治・稲垣退三

組合員目線

【活動項目】①交通安全・②道路	【活動テーマ】交通事故防止に向けた環境整備
到達目標	今年6月に中学校1年生が通学途中でトラックにはねられ死亡事故が発生した。2度とこういった悲惨な事故が起こらないように交通安全対策に取り組む。 【29期後半期】安城市内での人身事故件数を5%減少。（令和元年度実績件数720件）
前回まで活動状況	本市での重大な交通事故を1件でも減らすべく、我々議員も微力ながら交通安全啓発運動を率先垂範すべきと考え、議会での一般質問等による政策要望や立哨活動を精力的に展開中。
今回 具体的活動 今回の進捗 【○】 ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	【活動経緯】 ・12月23日（水）横断者と運転手の双方の視認性を上げるためミラー設置（右写真参照） ・2月10日（水）交通安全啓発活動 ・2月19日（金）交通安全啓発活動 ・3月1日（月）夜間安全対策として交差点北東角に道路照明灯の設置・点灯（右写真参照） ・3月4日（木）3月定例議会の議案質疑にて質問 『自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業』 県がヘルメットの着用を努力義務とする条例の制定を予定しており、それを受け本市でもヘルメットの購入費用の一部を補助することでヘルメットの着用を促進し交通事故による頭部損傷の軽減を図ります ⇒県の補助対象が「7歳～18歳及び65歳以上」に対し、本市では「満年齢18歳以下及び65歳以上」としている。これは6歳以下のお子さんも保護者等が自転車の前や後ろの座席に乘せたり、自ら自転車に乗る事を考慮した市独自の補助 ・3月10日（水）交通安全啓発運動 【現在検討中の再発防止対策案】 ・運転手への啓発として路面標示検討 ・信号機の設置要望を警察に対して強く働きかけていく（町内会とも協業） ※会派要望に対して令和3年度の交通安全対策費用の内容を現在検証中
今後の活動	・交通安全活動は一朝一夕では解決しませんが、引き続き、粘り強く改善活動に取り組んでいく。 ・地域やくらしの相談で打ち上げられた、生活道路等における交通安全対策の推進。

【図や活動の様子が分かる写真など】



交通安全啓発運動



ミラー設置



道路照明灯の点灯

(参考) 安城市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

安城市取り組み項目	②企業誘致
安城市取り組みテーマ	地域ものづくり産業の活性化
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
市内企業の近隣市への流出防止や新規産業を誘致し、市の財政基盤強化を図るため、企業立地推進計画策定にあたり、改めて本市における工業用地のニーズのアンケート調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりアンケート自体の実施が難しい状況となった。 そこで、これまでの工業コーディネーターへの相談や、商工課窓口、商工会議所等で把握している工業用地の希望がある企業に対して、個別の聞き取り調査を実施し、ニーズ（時期、規模、場所、業種等）の把握結果を基に働き掛けをおこなう	① 企業立地推進計画策定委託業務の進捗を確認（コンサルタントに策定委託済） ② 令和３年度安城市当初予算に関する要望書（会派要望）で市長に要望 ③ 本議会や委員会にて質疑を行い、進捗状況や今後の見通しを確認

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

安城市取り組み項目	① 交通安全、②道路
安城市取り組みテーマ	交通事故防止に向けた環境整備
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
今年６月に中学校１年生が通学途中でトラックにはねられ死亡事故が発生した。２度とこういった悲惨な事故が起こらないように交通安全対策に取り組む。	① 通学路安全プログラムの整備状況を確認し課題等の抽出を行い改善に繋げる ② 会派要望に対して、交通安全対策費用予算措置の確認 ③ 地域やくらしの相談で打ち上げられた生活道路等における交通安全対策の推進